

高等学校 家庭

1

次の(1)～(4)の問いに答えよ。

(1) 子どもが生存と発達を保障され、不当な取り扱いから保護され、自分らしく生きる基本的人権を実現するために1989年の国連総会において、採択された条約は何か、記せ。

(2) 次の文は、児童福祉法の条文である。(ア)～(オ)に適する語句を、記せ。

第1条 児童福祉の概念

①すべて国民は、児童が心身ともに、(ア)に生まれ、且つ、育成されるよう努めなければならない。

②すべて児童は、ひとしくその(イ)を保障され、(ウ)されなければならない。

第2条 児童育成の責任

国及び地方公共団体は、児童の保護者とともに、児童を心身ともに(ア)に育成する(エ)を負う。

第3条 児童福祉保障の原理

第2条に規定するところは、児童の福祉を保障するための原理であり、この原理は、すべて児童に関する法令の施行にあたって、常に(オ)されなければならない。

(3) 上の児童福祉法の条文中にある「児童」とは、何歳未満を対象としているのか、記せ。

(4) 児童虐待防止法(2000年制定)「第6条 児童虐待に係る通告」の内容を、簡潔に説明せよ。

2

次の（１）～（５）の問いに答えよ。

- （１） 日本の高齢化の主な要因を二つあげ、その理由をそれぞれ記せ。
- （２） WHOが提唱した新しい指標で、平均寿命から、寝たきりや認知症など介護状態の期間を差し引いた期間のことを何というか、記せ。
- （３） 次の①～③の文中の下線部について、正しいものには○を、誤っているものは正しい語句を、それぞれ記せ。
- ① 老化とは、加齢化と異なり、遺伝や生活環境の影響を受けるため、進行速度に個別差はない。
- ② 高齢者を一様に機能の低下した存在だと考えることは、年齢に基づく差別、すなわちエイジズムである。
- ③ 経済的にも精神的にも質の高い豊かな生活をめざすことをADLという。
- （４） 「認知症」とはどのような状態であるか、説明せよ。また認知症の人との接し方を、次の語句を用いて簡潔に説明せよ。（自尊心・妄想・失敗行動）
- （５） 高齢者の食事介助について、安全に食事をさせるために介助者が留意すべきことを具体的に、三つ記せ。

3

次の(1)～(4)の問いに答えよ。

- (1) 三者間(消費者, 販売者, クレジット会社)の販売信用において, 次の(ア)～(ウ)のそれぞれで結ばれる契約の名称を, 記せ。
- (ア) 消費者と販売者
 - (イ) 販売者とクレジット会社
 - (ウ) 消費者とクレジット会社
- (2) 10万円借りて, 1か月1,500円の利息(単利)の場合, 年利は何%になるか, 計算せよ。(計算式も記せ)
- (3) リボルビング払いについて, その特徴を含め簡潔に説明せよ。
- (4) 個人が, 多重債務に陥った場合の, 債務の整理方法を, 四つ記せ。

4 次の(1), (2)の問いに答えよ。

(1) 次の表は食中毒の種類と特徴である。(①)～(③)に適する語句を, 記せ。

分類		病因菌	感染源	原因食品	発生時期	潜伏期間	症状	
細菌性	感染侵入型	サルモネラ菌	保菌者・家畜のふん便, 下水や河川水	食肉・鶏肉・魚介類	4～9月	6～48時間	嘔吐・下痢・発熱	
		(①)	家畜のふん便	食肉(特に鶏肉)	5～10月	2～7日	発熱・下痢・腹痛	
	感染毒素型	(②)	海水	魚介類・べんとう・漬け物	5～10月	3～40時間	下痢・腹痛	
		ウェルシュ菌	人・動物のふん便, 土壌・水	食肉・加熱調理食品	通年発生, 夏やや多い	8～22時間	腹痛・下痢	
	毒素型	食品内毒素型	黄色ブドウ球菌	人・動物の化のう部分	おにぎり・べんとう・サンドイッチ	通年発生, 夏やや多い	1～5時間	嘔吐・腹痛・下痢
		(③)	土壌・海水・河川	いづし・食肉加工品	5～11月	18～36時間	嘔吐・視覚障害・呼吸まひ	

(2) 次の①～③の問いに答えよ。

- ① 食品を製造する際に, 工程上で危害を起こす要因を分析し, それを最も効率よく管理できる部分を連続的に管理し, 安全を確保する衛生管理方式の名称は何か, 記せ。
- ② 食品衛生法, JAS法, 健康増進法の三つの法律にまたがっていた, 食品表示に関わる規定を一元化した, 平成27年4月1日に施行された法律は何か, 記せ。
- ③ 食品や製品などの安全, 商品・金融などの取引・表示など, 消費者の安全安心に関わる問題を幅広く所管している, 国の機関は何か, 記せ。

5 次の(1)～(5)の問いに答えよ。

(1) 次のⅠ～Ⅳは、ひとえ長着の作り方を説明した文である。文中の①～⑤に適する語句を、下のア～コから選び、記号を記せ。

Ⅰ 背縫い：二度縫いにする。縫いしろは、えり肩あきを(①)にもって、0.2cmのきせをかけ、手前へ折る。

Ⅱ そでの丸みのしまつ：丸みの地縫いより0.5cm外側を細かい針目で縫う。縫いしろを(②)そで側へ倒すので、倒しやすくするためには、糸端を(③)そで側へ出して約5cm残しておくが良い。

そで下・丸み・そで口下の縫いしろを、A 0.2cmのきせをかけて(②)そで側へ倒す。

Ⅲ おくみつけ：前身ごろとおくみを中表に合わせ、B まち針を打ち、縫う。

縫いしろは0.2cm(けん先は0.3cm)のきせをかけ、(④)のほうへ折り、えりつけしるしの2cm上から C 耳ぐけをする。

Ⅳ えりをしっかりさせるために、えり肩あきにしんを入れる。この部分のことを(⑤)とあるので、入れるしんのことを(⑤)しんという。

ア かけえり	イ 前	ウ 右	エ 前身ごろ	オ 上
カ みつえり	キ 後ろ	ク 左	ケ おくみ	コ 下

(2) 下線部Aの作業の際、丸みをつくるときにきれいに整える方法を、簡潔に説明せよ。

(3) 下線部Bについて、まち針は前身ごろ側、おくみ側、どちらから打つのか、記せ。

(4) 下線部Cと同じ縫い方で、縫いしろのしまつをする部分を、おくみの他に二つ記せ。

(5) ひとえ長着とはどのようなものか、仕立て方と丈に着目して、記せ。

6

ホームプロジェクトについて、次の(1)、(2)の問いに答えよ。

- (1) ホームプロジェクトの学習の特徴、学習の流れを説明せよ。また、具体的なテーマの例をあげよ。
- (2) 学習のまとめとして、生徒に学習内容、研究内容を発表させたい。発表する生徒に対して、どのような指導を行うか、またどのように評価するか、具体的に説明せよ。